
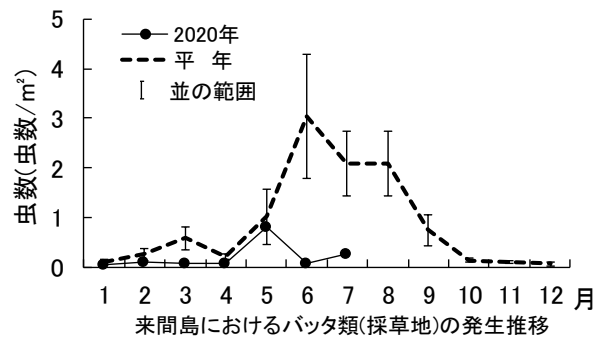
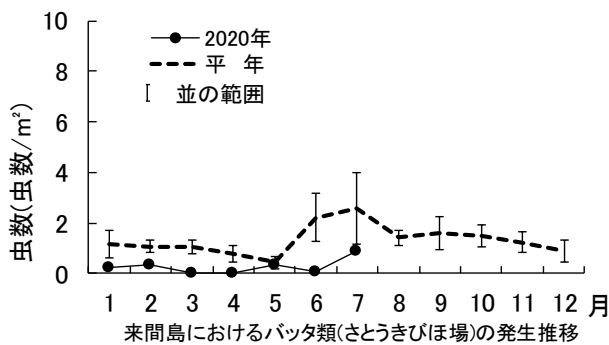


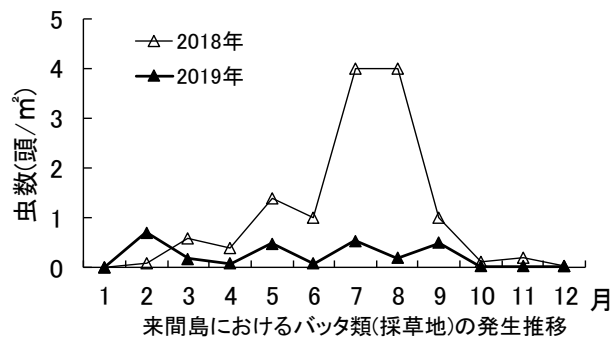
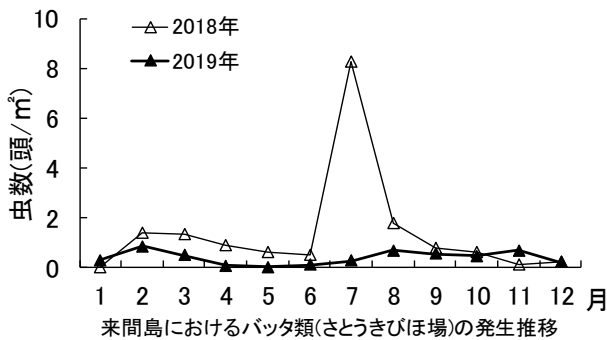
| | | | |
|-------|---------------|---------------|---|
| 作物 | さとうきび | 地域 | 宮古群島 |
| 病害虫名 | バッタ類 | |  |
| 調査結果 | 7 月の発生量 (平年比) | やや少 | |
| 予報 | 7 月からの増減傾向 | ↓ | |
| | | 8 月の発生量 (平年比) | やや少 |
| 予報の根拠 | | 平年の発生量の推移 (↓) | |

調査結果

今年と平年の推移



過去 2 年の推移

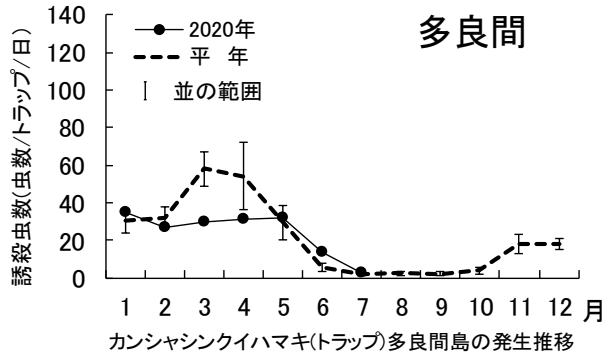
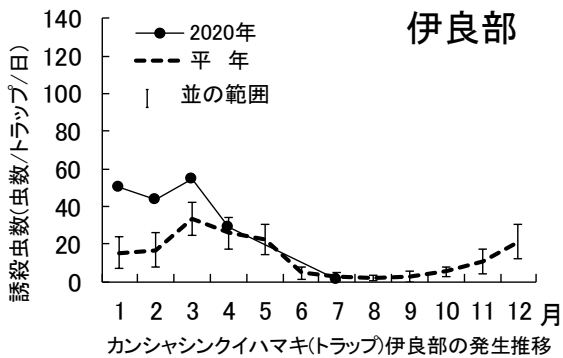
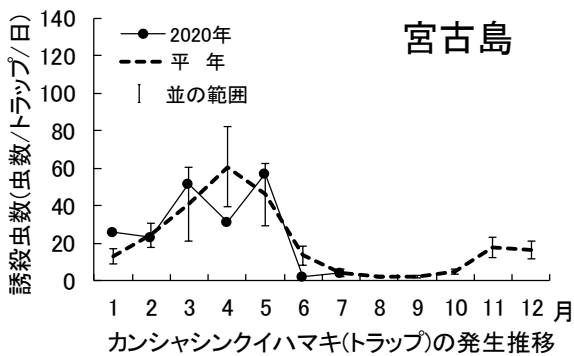


防除のポイント

- ・ 発生源となるほ場及び周辺の除草を徹底する。
- ・ 成虫防除を実施する場合には、活動の鈍い早朝に一斉防除を行うと効果的である。

| | | | | |
|-------|---------------------|---------------|----|---|
| 作物 | さとうきび | | 地域 | 宮古群島 |
| 病害虫名 | メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ) | | |  |
| 調査結果 | 7 月の発生量 (平年比) | — | | |
| 予報 | 7 月からの増減傾向 | — | | |
| | | 8 月の発生量 (平年比) | — | |
| 予報の根拠 | | | | |

調査結果



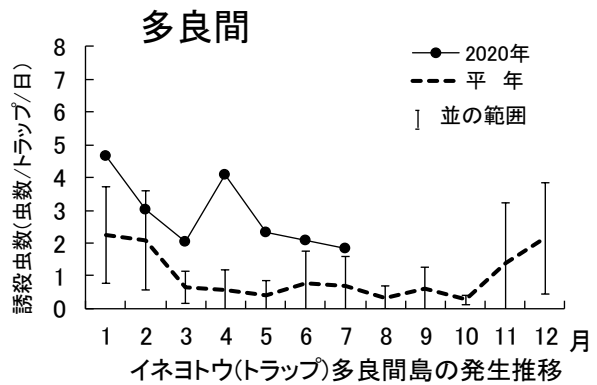
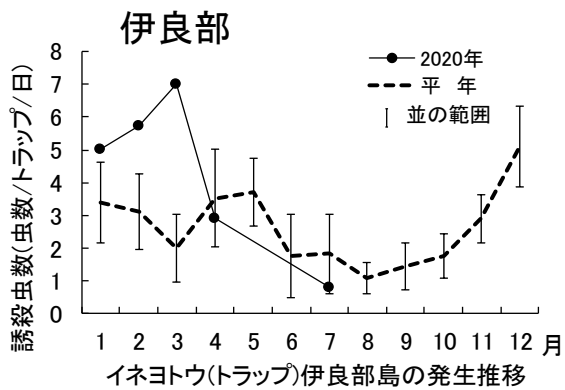
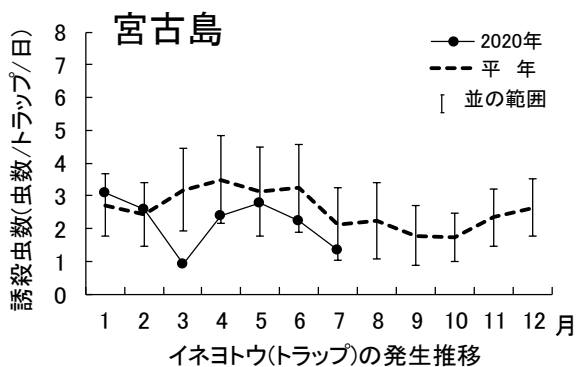
・病害虫防除員の報告 (メイチュウ類) : 中発生 (多良間島)

防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

| | | | |
|-------|----------------|----|---|
| 作物 | さとうきび | 地域 | 宮古群島 |
| 病害虫名 | メイチュウ類 (イネヨトウ) | |  |
| 調査結果 | 7 月の発生量 (平年比) | — | |
| 予報 | 7 月からの増減傾向 | — | |
| | 8 月の発生量 (平年比) | — | |
| 予報の根拠 | | | |

調査結果



・病害虫防除員の報告 (メイチュウ類) : 中発生 (多良間島)

防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。